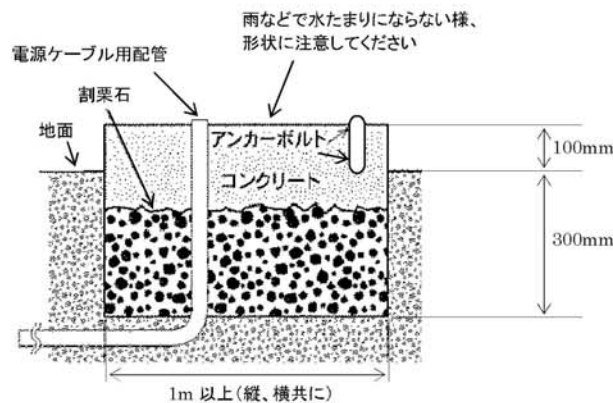


【基礎工事と本器据付】

- ・ コンクリートの圧縮強度 18MPa[180kgf/cm<sup>2</sup>]以上を使用して基礎工事を行ってください。
- ・ コンクリートの大きさは、1m×1m 以上を確保してください。
- ・ 電源ケーブル用配管を外形寸法図に従って行ってください。
- ・ アンカーボルト(M12)の施工方法
  - ① 外形寸法図よりアンカーボルト(7 本)の位置を決めてドリルで所定の穴径、深さで穴をあけてください。穴径、深さは、アンカーボルトの仕様に従ってください。
  - ② ダストポンプ等で切粉を取り除いてください。
  - ③ アンカーボルトを打ち込んでください。
- ・ 本器の据付
  - ① 設置用ベースをアンカーボルトに据付けてボルト、ばね座金、平ワッシャーで固定します。(7 本)
  - ② 本器を据付けて付属のボルト(M12×30)、ばね座金、平ワッシャーで固定します。(6 本)
  - ③ 積雪地域で据付の場合は、本器に小屋がけしてください。

基礎工事施工例



【200V 電気配線工事】

工事は、電気工事士の資格者が必ず行ってください。  
「電気設備技術基準」及び「内線規定」に従って作業してください。

- ① 本器の前面扉を付属の鍵で、開けます。
- ② 漏電遮断器前面の保護用アクリルカバーを外します。
- ③ 漏電遮断器の下方の配線カバーを外し、電源ケーブルに合わせてカットします。
- ④ 本器の右下に AC 入力端子台があるので電源ケーブルを配線します。(右図参照)
- ⑤ 親配線の漏電遮断器からアース線を接続します。
- ⑥ 漏電遮断器の下方の配線カバーを取り付けます。
- ⑦ 電源ケーブルの立ち上げ部をすきまパテで防水処理します。
- ⑧ 電源ケーブル及びアース線は、HIV電線以上、断面積は、60mm<sup>2</sup> 以上を使用してください。
- ⑨ 三相ですので、相順を確認してください。
- ⑩ C 種接地工事を実施してください。

本器AC入力端子台

